

令和2年度 事業計画書

公益財団法人 柏崎原子力広報センター

令和2年度事業計画

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

世界最大規模の原子力発電所が立地する地域として、広く県民一般に原子力発電、放射線利用など原子力の平和利用に関する知識の普及啓発を行い、もって地域社会の安全と安心に寄与することを目的とする。(定款から)

- 1 原子力の平和利用に関する知識の普及啓発
- 2 原子力に関する情報の収集及び公開
- 3 原子力防災に関する研修及び育成
- 4 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

総予算 38,433,000円 (令和元年度: 37,673,000円)

【事業項目】

1 原子力発電に関する広報事業

予算: 22,389,000円 (令和元年度: 23,225,000円)

(1) 原子力講座(出前講座)・研修

- ・目的: 原子力に関する正しい知識の普及啓蒙
- ・内容: 「放射線の基礎知識」、「原子力防災の基礎」等
- ・対象: 県内の一般住民
- ・回数: 5回(令和元年度: 8回)
- ・期間: 5月～12月
- ・開催形式: 地域・企業等に出向いての講座開催

(2) 放射線教育研修会

- ・目的: 学習指導要領の改正により小中学校の理科教師を対象に、教育現場に役立てもらうための放射線知識に関する研修
- ・対象: 県内の小中学校理科担当教師(教育委員会、教育センターと連携)
- ・回数: 3回(管内2回、管外1回)(20人/回)
(令和元年度: 3回)
- ・期間: 4月～6月
- ・研修: 放射線教育の推進に役立つ基礎研修講座
- ・会場: 柏崎原子力広報センター、県内の教育センター等

(3) 次世代対象事業

- ・目的：次世代（小・中学生）を対象に、原子力や放射線の知識の習得と共にエネルギーについて考える場の提供

① 青少年向け科学イベントへの参加

- ・対象：次世代層・親子
- ・内容：放射線及びエネルギーに関する体験
- ・回数：3回（令和元年度：3回）
- ・イベント名：青少年のための科学の祭典(2回)、刈羽村文化祭(1回)

② 放射線教室

- ・対象：小学生・中学生
- ・内容：小中学校での放射線及びエネルギー授業
- ・回数：30回（令和元年度：30回）
- ・期日：5月～12月

(4) 展示事業

- ・目的：当センターの展示設備等の利用促進と施設の維持管理
- ・内容：センター展示設備：アトミューひろば、ライブラリー、アトミューラボ等
施設の保守点検：電気、空調、自動ドア、エレベーター等
館内清掃
- ・期日：4月～3月

(5) ホームページによる情報公開、発信

- ・内容：講座、研修等についての定期的な情報発信
（日常更新は広報センターで実施）

(6) 原子力広報啓発資料の作成と配布

- ・内容：放射線に関する知識の普及啓発のためのメモ帳等の作成

(7) 原子力関係情報収集

- ・内容：職員研修・調査、資料収集と整理
原子力広報機関連絡会や原子力関連セミナー等への参加

(8) 講師情報共有会議

- ・内容：講師間の情報共有や講座・研修における基本事項の確認の場として年1回開催

2 「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会」運営事業

予 算：8,718,000円（令和元年度：8,014,000円）

- ・内 容：定例会12回、運営委員会12回、情報誌「視点」発行6回、核燃料サイクル施設等視察(青森県むつ市、六ヶ所村)

3 原子力防災に関する研修及び育成

予 算：6,868,000円（令和元年度：5,986,000円）

(1) 新潟県事業

- ・内 容：消防職員及び自治体防災担当職員等（30 km圏内）を対象とした原子力関連施設視察研修及（3回）び柏崎・刈羽地域以外住民への原子力防災研修（出前講座3回）
- ・回 数：6回（令和元年度：3回）
- ・予 算：2,404,000円（令和元年度：1,402,000円）

(2) 柏崎市事業

- ・内 容：「原子力地域防災リーダー研修」運営業務
- ・回 数：10回（消防団8回、市職員2回）
（令和元年度：9回）
- ・予 算：3,485,000円（令和元年度：3,485,000円）

(3) 刈羽村事業

- ・内 容：「原子力地域防災リーダー研修」運営業務
- ・回 数：6回（令和元年度：6回）
- ・予 算：979,000円（令和元年度：1,099,000円）

4 法人会計

- ・内 容：評議員会、理事会、監査運営等経費
- ・予 算：

458,000円（令和元年度：448,000円）